

腰痛・首痛・手足のしびれに特化した専門医師集団

6mm で治す。入院が短く、回復が早い先進技術

腰痛・背骨のスペシャリスト集団

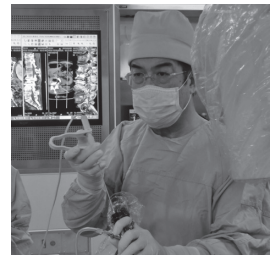
あいち腰痛オペクリニックには、さまざまな原因によって生じる腰痛の解消を求めて、日本全国から患者が訪れる。同院の伊藤全哉副院長は「患者さんのさまざまな症例、背骨のことなど何でも受け入れられる体制を作り上げたい」と語る。

脊椎に関するスペシャリストを配した同院では、最先端の治療が行われる。「どの治療に関しても、身体への負担が少ないことが一番大切です。忙しく働く社会人の方はもちろん、高齢者の患者さんも寝たきりにならないことを考えると、早期離床が望ましい。だからこそ、できるだけ早く社会復帰できる低侵襲の治療が必要です」

同院では、わずか6ミリの切開で内視鏡を使用し、行う低侵襲の脊椎手術「PELD法（経皮的内視鏡下腰椎椎間板ヘルニア摘出術）」をはじめとする最新の術式を行う。局所麻酔で手術ができ、骨や神経の損傷もほとんどないため、一泊入院での手術も可能という。2016年10月からさらにはさらに小さい切開で行える「SELD法（経仙骨的内視鏡下ヘルニア摘出術）」も開始した。同術式の必要とする切開部は3ミリ程度とのことで、伊藤副院長は日帰りでの治療提供も視野に入れていているという。

まずは正しい診断を東京にも拠点

「腰痛の原因がわからず、



世界先進の体にやさしい手術

痛みに苦しんでいる方は日本全国にいらっしやいます。以前は関東圏から愛知まで通っていたいたいたのですが、術前の診断や術後のフォローだけでなく入院を要さない治療は東京クリニックで対応できるようにしました」

こう語るのは、同院の関東の拠点となる東京腰痛クリニックの三浦恭志院長だ。東京クリニックでは、レーザー、ラジオ波を使用した治療をはじめ、手術後に提携ホテルで一泊しても



あいち腰痛オペクリニック 副院長 伊藤 全哉
いとう・ぜんや ●1998年、名古屋大学医学部卒業。名古屋大学医学部付属病院整形外科助教などを経て、2016年4月より現職。医学博士。日本整形外科学会認定整形外科専門医など。



東京腰痛クリニック 院長 三浦 恭志
みうら・やすし ●1986年、名古屋大学医学部卒業。伊藤整形・内科、あいち腰痛オペクリニックセンター長などを経て2013年4月より現職。医学博士。日本整形外科学会認定整形外科専門医、日本PED研究会世話人ほか



6mm 切開手術後、絆創膏を貼って終了

らうシステムでPELD手術にも対応。あいち腰痛オペクリニックの技術と知見を関東圏の患者に提供している。

新たな可能性を広げる背骨に特化した新病院

あいち腰痛オペクリニックの本拠である愛知でも新たな動きがある。2017年4月に新病院「あいちせほね病院」の開設を控えているのだ。日本初の脊椎専門の単科病院になる同院は、あいち腰痛オペクリニックが地域で担ってきた役割をさらに深化させる存在だ。

「新病院が誕生することで、最先端技術を駆使したオペクリニックと、保険診療を中心とした背骨の総合病院の両輪ができあがります」

新病院院長に就任予定の伊藤副院長は、グループに病院という形態が加わることで、先端技術の追求、医師の研修や教育、学会活動などが充実し、様々な可能性が広がると語る。

あいち腰痛オペクリニック、あいちせほね病院、東京腰痛クリニックは、腰痛、背骨のエキスパートとして、愛知から日本全国、そして世界の患者を救う治療を提供し続ける。

医療法人 全医会 伊藤整形・内科

あいちせほね病院 (2017年4月開院予定)

あいち腰痛オペクリニック
受付時間：8:30～12:00 / 14:00～19:00
休診日：月・日・祝
〒480-0102 愛知県丹羽郡 扶桑町大字高雄字郷東41
TEL.0587-92-3388
http://www.itoortho.jp/

東京腰痛クリニック
受付時間：9:00～18:00 ※完全予約制
休診日：月・日・祝
〒104-0061 東京都中央区 銀座5-1-15 第一御幸ビル2・3階
TEL.03-5537-3885
http://www.tokyo-itoortho.jp/

